

広報

## 諏訪バイパス

発行主体

Public relations magazine Suwa bypass

◆国道20号諏訪バイパス建設促進期同盟会（諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期同盟会、下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期同盟会）  
◆下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期同盟会 ◆諏訪市 ◆下諏訪町

## 国道20号諏訪バイパスの対応方針が決定されました！

国土交通省は、11月4日に国道20号諏訪バイパスの未着手区間（諏訪市四賀～下諏訪町東町）について、昭和47年に都市計画決定されたルートに比べて山側を通す「山側ルート」でバイパスを整備するという「対応方針」を決定しました。

これにより、平成25年からの「計画段階評価」の手続きが終了し、今後は環境アセスメントを実施しながら、都市計画（変更）決定の手続きに進みます。

 対応方針

## バイパス案（山側ルート）を選定する

 対応方針の概要

諏訪市～下諏訪町間を、現都市計画ルートより山側にバイパスを通す案



## [理由]

バイパス案（山側ルート）は、政策目標である交通の円滑化、災害に強い代替路の確保、交通安全の確保を図るとともに、生活環境などに配慮し、安心・快適な暮らしづくりや地域産業の活性化に寄与する道路である。

また、家屋への影響、経済性の面でも優れており、意見聴取で得られた地域のニーズにも応えられる。

## 国道20号バイパスの事業促進に向けての要望活動



8/4 国土交通省 石川道路局長へ要望



8/23 長野国道事務所 吉見事務所長へ要望

8月4日に、国土交通省、国土交通省関東地方整備局、財務省、後藤衆議院議員へ要望を行いました。国土交通省の石川道路局長からは、「都市計画決定までは、所定の期間がかかるが、決定後の早期事業化に対応できるよう、地元との合意形成を進めてほしい」との話をいただきました。

また、8月23日には、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所、長野県へ要望を行いました。長野国道事務所の吉見事務所長からは、「下諏訪岡谷バイパスも含め、息を抜かずに諏訪地域の事業進捗に努めるので、協力いただきたい」との話をいただきました。

## 国道20号下諏訪岡谷バイパス3工区の施工状況を視察

11月1日に、長野国道事務所の宮川計画課長、佐谷岡谷維持修繕出張所長にご案内いただき、平成29年度に供用開始を迎える3工区のうち、橋梁構造の「塩嶺大橋床版他工事」、盛土で施工する「今井改良2工事」の状況を視察しました。

工事区間は約800mで、塩嶺大橋では登坂車線が設置されることや、今井改良2工事では4万立方メートルの盛土工事となる等の説明を受け、有意義な視察となりました。



塩嶺大橋床版他工事



今井改良2工事

### 問合せ先

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局

諏訪市建設部国道バイパス推進室

TEL：0266-52-4141（内線271）／FAX：0266-52-8164／E-mail：bypass@city.suwa.lg.jp

下諏訪町建設水道課関連調整係

TEL：0266-27-1111（内線246）／FAX：0266-28-8783／E-mail：kanren@town.shimosuwa.lg.jp

広報

## 諏訪バイパス

Public relations magazine Suwa bypass



## (仮称)都市計画道路諏訪バイパス 環境影響評価方法書説明会が開催されました。

諏訪バイパスは、昨年11月に国が「バイパス案(山側ルート)」という対応方針を決定し、平成25年度からの「計画段階評価」が終了しました。次の段階としては、「環境影響評価(環境アセスメント)方法書以降の手続」を実施しながら「都市計画の決定」を目指します。

整備の規模は、延長約11kmで4車線を計画していることから、「環境影響評価法」における「第一種事業」に該当し、環境影響評価の実施が義務付けられています。

具体的には、事業が環境に及ぼす影響について、事前に調査、予測及び評価を行い、結果を公表して地域住民の皆様から意見を聴き、それらを踏まえて環境保全の観点からより良い事業計画を作り上げる制度です。この環境影響評価における調査の項目や方法が記載された内容についてより深く住民の皆様にご理解いただく機会として、5月9日(火)～12日(金)の4日間、諏訪市及び下諏訪町で説明会が開催されました。



住民説明会(諏訪市会場)



住民説明会(下諏訪町会場)

## 平成29年度第2回 長野県環境影響評価技術委員会が開催されました。



県環境影響評価技術委員会

(仮称)都市計画道路諏訪バイパスの環境影響評価方法書を審議する県の環境影響評価技術委員会が5月19日(金)に下諏訪総合文化センターで開催されました。この技術委員会は、県環境影響評価条例に基づき、知事が環境の保全の見地からの意見を述べる際に、科学的・専門的な見地から十分に検討を行うために開催されるものです。今後、2回程度開催し、技術委員会としての意見をまとめていく予定となっております。

### 発行主体

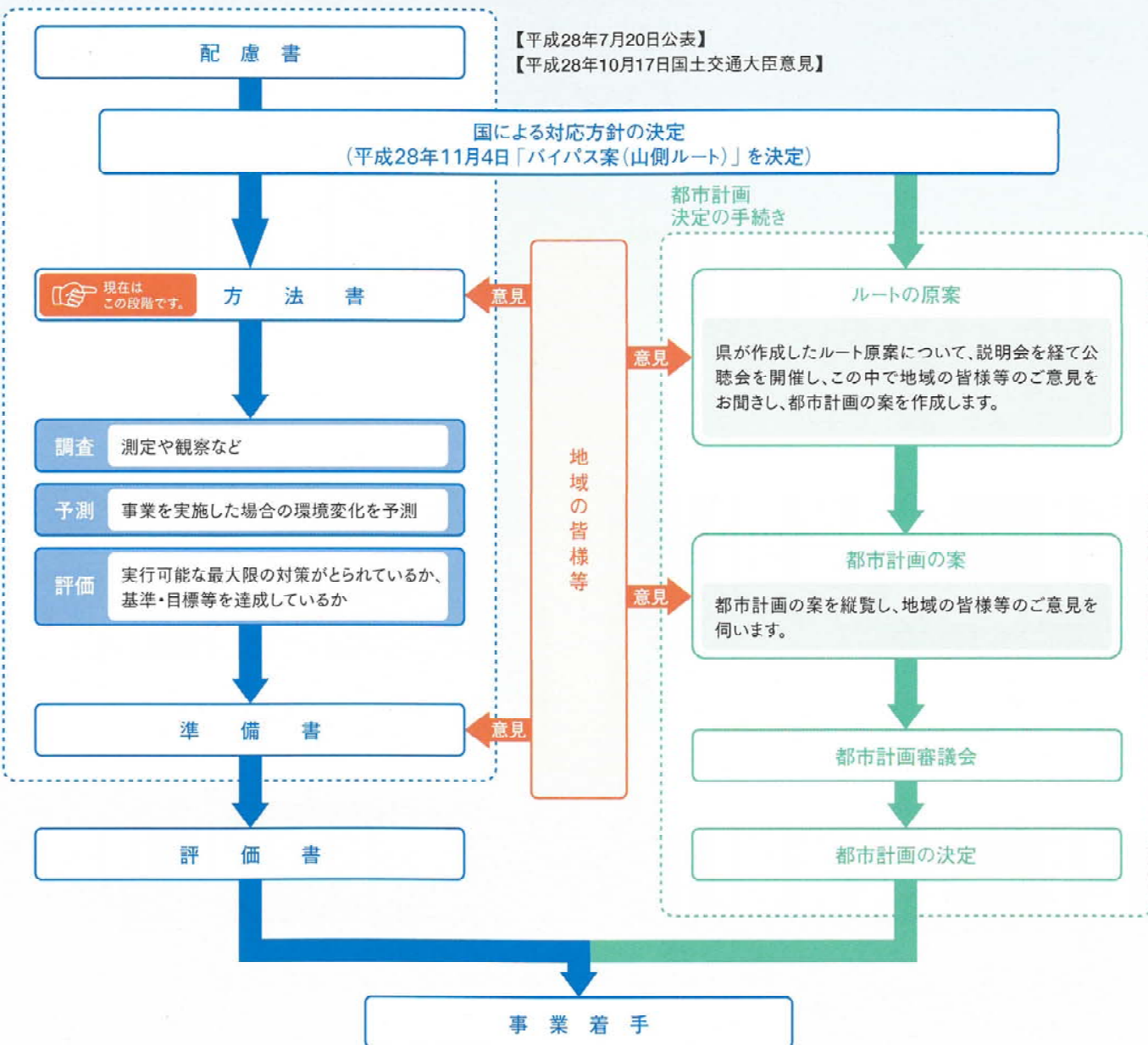
国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会（諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会）・下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会・諏訪市・下諏訪町

## 環境影響評価の手続きの流れ

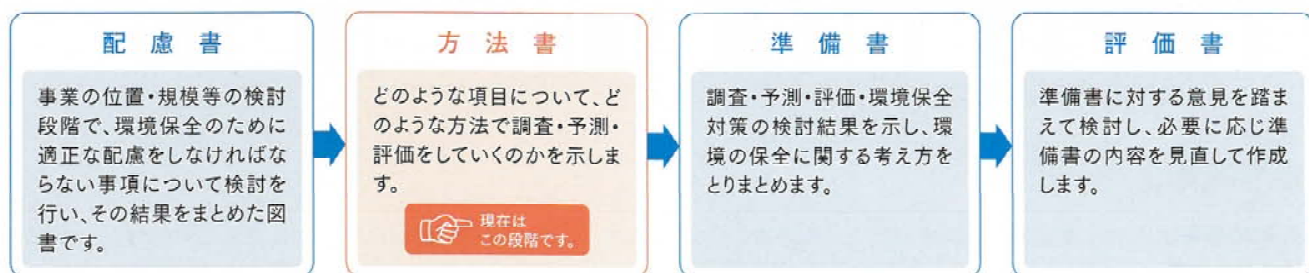
今回の環境影響評価方法書の手続きにおいて、方法書の公告、縦覧及び説明会を行い、地域の皆様等にご意見をいただき、調査・予測・評価方法を決定します。

今後は、環境影響評価手続きにおいて、方法書手続きにより決定した方法で現地の調査を行うとともに、都市計画決定手続きにおいてはルート原案の作成を行います。

### 環境影響評価の手続き



## 環境影響評価の手続き



## 環境影響評価の調査・予測・評価の手法

環境影響評価の手法は、国土交通省令、道路環境影響評価の技術手法、長野県環境影響評価技術指針及び専門家等の技術的助言を踏まえて選定されています。

環境要素	調査の手法	予測の手法	評価の手法	
大気質	二酸化窒素・浮遊粒子状物質	二酸化窒素、浮遊粒子状物質、気象の状況を文献及び現地調査により実施	正規型ブルーム式及び積算型簡易パフ式の拡散式による予測	環境保全についての配慮が適正になされているかどうかについて評価
	粉じん等	気象の状況を文献及び現地調査により実施	事例の引用又は解析により得られた経験式による予測	
騒音	騒音	騒音、地表面、沿道の状況を文献及び現地調査により実施	日本音響学会式等による予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについても評価
振動	振動	振動、地盤の状況を文献及び現地調査により実施	旧建設省土木研究所の提案式等の手法による予測	
低周波音	低周波音	住居等の位置の状況を文献及び現地調査により実施	既存調査結果により導かれた予測式による予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについても評価
水質	水の濁り	水質(浮遊物質等)、水象(流量等)、水底の土砂の状況を文献及び現地調査により実施	事例の引用又は解析による手法による予測	
	水の汚れ	水質(水素イオン濃度)、水象(流量等)の状況を文献及び現地調査により実施	事例の引用又は解析による手法による予測	
水象	河川	流量、流況、浸食・堆砂、水道水源の状況を文献及び現地調査により実施	事例の引用又は解析による手法による予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについても評価
	地下水	地下水、帯水層の地質・水理、温泉源泉の状況を文献及び現地調査により実施	事例の引用又は解析による手法による予測	
地形及び地質	重要な地形及び地質	地形及び地質の概況、重要な地形及び地質の分布、状態及び特性を文献及び現地調査により実施	事例の引用又は解析による手法による予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについても評価
その他	日照障害	土地利用、地形の状況を文献及び当該情報の整理により実施	等時間の日影線を描いた日影図による予測	
動物	重要な種及び注目すべき生息地	動物相の状況、重要な種等の状況を文献及び、直接観察、捕獲採取、痕跡確認等の現地調査により実施	科学的知見や類似事例を参考に予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについても評価
植物	重要な種及び群落	植物相及び植生の状況、重要な種及び群落の状況を文献及び、直接観察等による現地調査により実施	科学的知見や類似事例を参考に予測	
生態系	地域を特徴づける生態系	動植物その他の自然環境に係る概況、地域を特徴づける生態系の注目種・群衆の状況を文献及び現地調査により実施。現地調査は動物、植物の調査結果を活用	科学的知見や類似事例の引用その他の手法による予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについても評価
景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	主要な眺望点、景観資源、主要な眺望景観の状況を文献及び現地調査により実施	図上解析に基づく変更の位置、程度及びフォトモンタージュ法等による視覚的な表現方法による変化の程度を予測	
人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	人と自然との触れ合いの活動の場の概況、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用及び利用環境の状況を文献及び現地調査により実施	図上解析に基づく変更の位置、程度及び到達時間・距離の変化、近傍の風景の変化が生じる位置、程度を予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについても評価
文化財	文化財	文化財の状況を文献及び現地調査により実施	類似事例の引用又は解析による予測	
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	予測・評価に必要な情報として、廃棄物等の種類ごとの発生・処分の状況を文献調査により実施	発生量及び最終処分量の算出による予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについても評価

## 平成29年度国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会総会を開催

4月21日、諏訪市役所において平成29年度国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会総会を開催しました。総会では、平成28年度事業報告、平成29年度事業計画が審議され、今年度も国土交通省や財務省に対して行う中央要望、長野国道事務所、長野県建設部に対して行う、長野要望を実施することが承認されました。また、環境影響評価方法書の説明会への大勢の参加を呼びかけました。

また、総会の最後に「国道20号諏訪バイパス建設促進に関する決議」をし、早期の事業化に向けて強く要望していくことを確認しました。



### 国道二十号諏訪バイパス建設促進に関する決議

国道二十号は、諏訪圏域の活力ある社会や経済活動と、豊かな生活や文化を支える最も基礎的かつ必要不可欠な社会資本であり、国が実施した計画段階評価の意見聴取においても、バイパス整備の促進・実現について、地域から強い期待が寄せられている。

周囲を山々に囲まれ、また平野部の多くを諏訪湖が占めているなど、地理的にも厳しい自然環境を有する諏訪地域において、安全で安心な住民生活を実現し、地域間交流の促進や、魅力あふれる地域づくりを進めるためには、国道二十号バイパスを中心とした地域の道路ネットワークを、確実に構築していく必要がある。

近年、日本各地で、地震、豪雨、豪雪、火山噴火等の災害が相次いで発生しており、防災・減災の観点からも、信頼性と代替性が高く、災害時にも地域が孤立しない道路網を早期に整備し、次世代に引き継いでいくことが我々の責務である。

諏訪地域住民の安全・安心や、地域経済に好循環をもたらす諏訪圏域の道路ネットワークの整備が、早期に実現するよう、国道二十号諏訪バイパス建設促進期成同盟会は、次の事項について強く要望していく。

#### 一、国道二十号諏訪バイパスの早期事業化

右、決議する。

平成二十九年 四月二十一日

国道二十号諏訪バイパス建設促進期成同盟会

平成二十九年総会

## 国道20号バイパスの事業促進に向けての要望活動

本年度も、国道20号諏訪バイパスの早期事業化と国道20号下諏訪岡谷バイパス第1工区の早期完成に向けた事業促進要望を行います。

6月22日 中央要望 要望先:国土交通省、国土交通省関東地方整備局、財務省、後藤衆議院議員

8月18日 長野要望 要望先:国土交通省関東地方整備局長野国道事務所、長野県

### 問合せ先

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局

諏訪市建設部国道バイパス推進室

TEL: 0266-52-4141 (内線271) / FAX: 0266-52-8164 / E-mail: bypass@city.suwa.lg.jp

下諏訪町建設水道課関連調整係

TEL: 0266-27-1111 (内線246) / FAX: 0266-28-8783 / E-mail: kanren@town.shimosuwa.lg.jp

広報

# 諏訪バイパス

Public relations magazine Suwa bypass



## 下諏訪岡谷バイパス(第3工区) 塩嶺大橋が完成・開通しました。



10/14 国道20号塩嶺大橋 開通式の様子

塩嶺峠は岡谷市と塩尻市の境に位置し、諏訪盆地と松本盆地を結ぶ交通の要衝で、古くから人や物の往来が盛んな道ですが、標高約1,000mで、急勾配とS字カーブが連続する区間であったことから、線形改良等の整備が行われてきました。

今回の整備は、安全性の向上及び交通混雑の緩和による交通事故の減少効果と、国道20号の慢性的な渋滞緩和を見込み、平成20年度に着工し、本年10月14日の開通に至りました。

## 国(国土交通省・財務省・長野国道事務所)・ 県(建設部)への要望活動を行いました。



6/22 国土交通省 石川道路局長へ要望

6月22日(木)に、国土交通省、国土交通省関東地方整備局、財務省、後藤衆議院議員への要望活動を行いました。

国土交通省では石川道路局長と面会し、諏訪バイパスの早期事業化と、下諏訪岡谷バイパスの早期完成に向けた事業促進を要望しました。

また、財務省へは道路予算の確実な確保と、道路財特法の特別措置の継続を要望しました。

長野県建設部への要望は、8月18日(金)に行いました。対応いただいた油井建設部長からは、「皆さまのバイパスに対する期待を感じる。ルート決定、事業化に向け県としても国に働きかけたい。」という発言をいただきました。

また、併せて行った、国土交通省長野国道事務所への要望活動については、吉見同事務所長から「多くの方々の期待が大きいと感じている。手続きを進めながら丁寧に対応したい。」という発言をいただき、事業の更なる推進に期待が膨らみます。

### 発行主体



8/18 長野国道事務所 吉見事務所長へ要望

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会（諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会）・下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会・諏訪市・下諏訪町

## 《(仮称)都市計画道路諏訪バイパス環境影響評価方法書について 知事の意見が通知されました。》



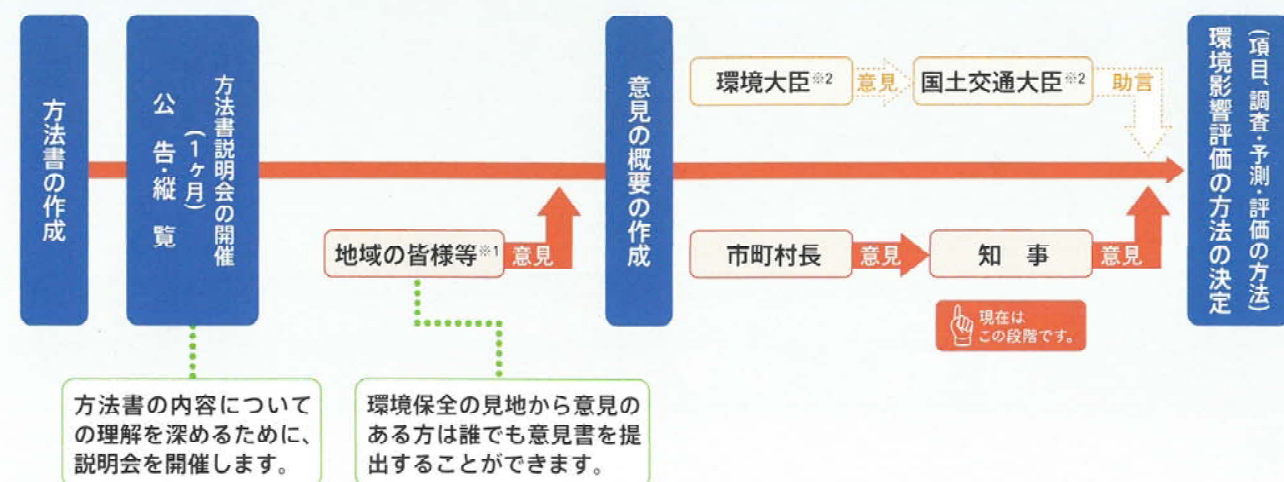
環境影響評価(アセスメント)の手続が進められている一般国道20号(長野県諏訪市～下諏訪町間)について、方法書に対する環境の保全の見地からの知事の意見が都市計画決定権者である長野県(建設部)\*に通知されました。

環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手続等について、地下水や騒音、動植物、景観への配慮など計20項目が挙げられています。今後、都市計画決定権者は、知事の意見を受けて方法書の内容を再検討し、調査、予測及び評価を行います。(以下に、知事の意見を記載します。)

※環境影響評価手続における都市計画の特例について

道路等が都市施設として都市計画に定められる場合は、その段階で事業内容が決定されます。環境影響評価の結果が都市計画の決定に反映されるようにするため、当該都市計画を決定する者(都市計画決定権者)が事業者になって、都市計画を定める手続と併せて環境影響評価の手続を行うこととされています。

### ■環境影響評価の方法の決定までの流れ



方法書の内容についての理解を深めるために、説明会を開催します。

環境保全の見地から意見のある方は誰でも意見書を提出することができます。

※1：地域の皆様等の意見の提出期間は、公告日～縦覧期間満了日の翌日から起算して2週間を経過するまでの間とされています。  
 ※2：環境大臣の意見及び国土交通大臣の助言は、必要に応じて求めるものとされています。

### ■長野県知事の意見 《(仮称)都市計画道路諏訪バイパス環境影響評価方法書》

#### [全般]

- 今後決定する具体的なルートやトンネル、高架等の道路構造(以下単に「道路構造」という。)を踏まえ、適切に調査、予測及び評価を行うこと。また、環境影響評価準備書(以下「準備書」という。)作成前の詳細な平面縦横断線形が明らかになった時点で県に報告し、調査、予測及び評価の地点や方法について助言を受けること。
- 準備書段階で道路構造、工法等に不確定部分が残っている場合は、最も環境負荷が大きくなる条件を想定し、調査、予測及び評価を行うこと。
- 対象事業実施区域及びその周辺は大半の項目において環境基準を大きく下回る地域であることが想定されるため、環境影響評価の実施に当たっては、現況を的確に把握した上で、その状況をできる限り悪化させないという観点から評価を行い、必要な環境保全措置を講じること。
- 事業実施区域周辺には、住宅や老人福祉施設など特に配慮を要する施設があるため、それらへの影響について適切に予測及び評価を実施すること。
- 準備書の作成に当たっては、地質断面図、ボーリング柱状図等の予測評価等の根拠を示すとともに、専門用語について注釈を行う、工法等を図示するなど住民により分かりやすい図書となるよう努めること。
- 道路構造、工法、想定される環境影響等を具体的に住民に提示し、理解を得ながら今後の手続を進めること。また、その状況について、県に報告すること。

#### [事業計画]

- 事業実施区域には断層帯、土砂災害特別警戒区域及び軟弱地盤地域が存在することに十分に配慮し、道路構造等を検討すること。また検討の経緯及び内容について準備書において明らかにすること。

#### [騒音、振動、低周波音]

- 住宅の密集する地域がトンネル抗口の近傍となることが想定されるため、発破工事を実施する場合には、騒音、振動及び低周波音に係る環境要因として発破工事を選定し、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

#### [水質]

- 降雨時の水質調査については、降雨量の違いによる水質への影響を適切に把握できるよう、複数回実施すること。

#### [水象]

- 地下水については、工事実施箇所だけではなく、その下流へ影響が生じる可能性があるため、地下水の広域的な連動性を把握できるように調査地点を設定し、事業による影響について適切に予測及び評価を行うこと。
- 河川への橋脚の設置等による漁業等の水面利用への影響について、漁業関係者への聞き取りを行い、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

#### [地形・地質]

- 諏訪盆地の断層群は、諏訪盆地における新期断層変位地形が生じている地域であるため、重要な地形及び地質として位置付け、調査、予測及び評価の地点への追加を検討すること。

#### [地盤]

- 事業実施区域内には、軟弱地盤地域が存在するため、地盤を環境影響評価項目として選定し、適切に調査、予測及び評価を行うことを検討すること。

#### [植物、動物]

- 河川に橋脚を設置する場合には、工法によって、その下流に大きな影響を与える可能性があるため、今後決定する道路構造、工法等を踏まえ、水生動植物の調査範囲の拡大を検討すること。また、当該調査の結果を踏まえ、水生動植物への影響のより少ない工法への見直しを検討すること。
- 動植物の調査については、環境が大きく変化することとなる明かり部に重点を置いて行うこと。
- かつての渋のエゴや周辺河川付近は、諏訪湖でも最後に残された水生植物群落が分布している場所であるため、植物の調査、予測及び評価の地点への追加を検討すること。
- メガネサナエは、日本では諏訪湖と琵琶湖にしか生息しない希少なトンボであるため、あらかじめ生態、生息地等について把握した上で、調査、予測及び評価を行うこと。

#### [景観]

- 中央道の諏訪湖SAは、諏訪盆地の一番の眺望地点であるため、主要な視点場として位置付け、景観の調査、予測及び評価の地点に追加すること。

#### [触れ合い活動の場]

- 事業実施区域は、諏訪湖の外環であり人と自然との触れ合い活動の場が多くあるため、それらに対する工事による影響が想定される場合には、環境影響評価項目として選定し、調査、予測及び評価を行うこと。また、自然豊かな社寺等について、主要な人と自然との触れ合い活動の場として位置づけ、調査、予測及び評価の地点への追加を検討すること。

#### [廃棄物等]

- 準備書において、伐採木の発生量を予測及び評価の対象に加えるとともに、その処理方法についても記載すること。



## 諏訪バイパスの整備効果

何故、諏訪バイパス整備が必要か？ シリーズで考えてみます。

### ■バイパスの整備効果1:災害に強い緊急搬送路・代替路の確保

- 平成18年の豪雨災害では18時間（国道20号37時間）にわたり鉄道、高速道、国県市町道路が完全に遮断され南北交通遮断により「陸の孤島」化となっしまい、住民の生活に大きな打撃がありました。バイパス整備により高規格な道路が整備されることで、災害に強く住民の安心と安全が確保されます。



承知川付近の冠水状況(H18)



上諏訪駅付近の冠水状況(H18)

- 平成19年から平成29年までの諏訪地域内中央自動車道の通行止めの回数は38回（147時間）にも及び、通行止めによる現道への迂回車両により、諏訪地域内では渋滞が発生する原因となっています。バイパス整備により、この様な渋滞も解消します。

### ■バイパスの整備効果2:交通安全の確保

- 現国道における通学路指定区間の歩道整備率は、2m以上の歩道整備率が2割であり、0.75m以上の歩道も7割に留まるため、児童等の登下校時における交通事故遭遇率が高く非常に危険な状況です。バイパス整備により事故率の減少が図られます。
- 慢性的な渋滞により国道を迂回する車両が生活道路に流入することから、住民の交通事故遭遇率が高く、危険な状態となっています。バイパス整備により死傷事故率の減少が図られます。



藤ノ木交差点付近の通学風景



大社通り交差点付近の交通状況

### 問合せ先

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局

諏訪市建設部国道バイパス推進室

TEL：0266-52-4141（内線271）／FAX：0266-52-8164／E-mail：bypass@city.suwa.lg.jp

下諏訪町建設水道課関連調整係

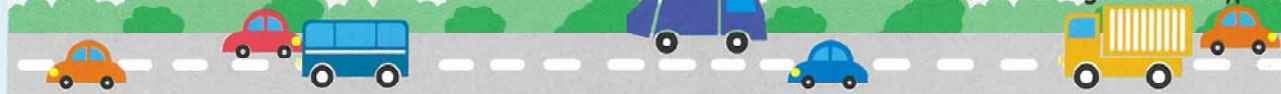
TEL：0266-27-1111（内線246）／FAX：0266-28-8783／E-mail：kanren@town.shimosuwa.lg.jp



広報

## 諏訪バイパス

Public relations magazine Suwa bypass



## 災害に強い諏訪バイパスの早期整備を!

今年7月に西日本を中心に発生した記録的な豪雨は、多くの人命を奪い、家屋やライフラインに甚大な被害をもたらしました。また、高速道路や国道などの幹線道路や、地域の生活道路がいたる所で通行止めになり、現在も復旧に至らない路線もあることから、被災地の住民の生活に大きな影響が出ています。

諏訪地域においても、平成18年に豪雨災害が発生し、8人の尊い命が奪われるなど、大きな被害を受けました。鉄道、高速道路、国県市町道路は18時間にわたり遮断され、国道20号は最大で37時間もの間不通となり、まさに「陸の孤島」と化してしまいました。

## 平成18年7月豪雨による被害状況(抜粋)

下諏訪町新町来迎寺裏(国道142号)

下諏訪町承知川屯所前(国道20号)

岡谷市湊1丁目((主)岡谷茅野線)

諏訪市諏訪1丁目(国道20号)

諏訪市豊田地区から諏訪湖を望む  
(信濃毎日新聞より)

## ATTENTION

熊本地震や、今回の災害を受け、安定して人とモノを運ぶ道路整備の必要性が高まっています。諏訪バイパスも、災害に強い緊急輸送路・代替路として、地域の安全・安心の確保を実現するために、整備を強く進めていかなければなりません。

## 国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会の 総会を開催しました。



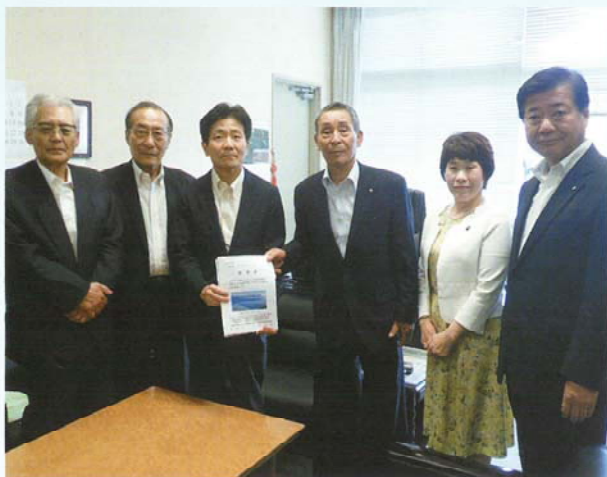
渡辺新会長の挨拶

4月18日(水)、下諏訪町役場において平成30年度国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会総会を開催しました。

総会では、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画が審議され、今年度も国土交通省や財務省に対して行う中央要望、長野国道事務所、長野県建設部に対して行う長野要望を実施することが承認されました。また、役員改選により、会長に諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会の渡辺芳紀会長が選出されました。

総会において「国道20号諏訪バイパス建設促進に関する決議」をし、早期の事業化に向けて強く要望していくことを確認しました。

## 国(国土交通省・財務省・関東地方整備局・ 地元選出国會議員)への要望活動を行いました。



国土交通省 石川道路局長へ要望

6月28日(木)に、国土交通省、国土交通省関東地方整備局、財務省、後藤衆議院議員への要望活動を行いました。

今年から要望書へ国道20号の重要物流道路指定によるバイパス整備の促進を追加しました。

重要物流道路とは、平常時及び災害時を問わず安定的な輸送を確保する道路として、国が指定するもので、指定後は機能強化や重点支援を受けることができます。

国土交通省では石川道路局長と面会し、諏訪バイパスの早期事業化と、下諏訪岡谷バイパスの早期完成に向けた事業促進を要望しました。

また、財務省へは道路予算の確実な確保を要望しました。

### 発行主体

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会（諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会）・下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会・諏訪市・下諏訪町

### 問合せ先

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局

諏訪市建設部国道バイパス推進室

TEL：0266-52-4141（内線271）／FAX：0266-52-8164／E-mail：bypass@city.suwa.lg.jp

下諏訪町建設水道課国道バイパス推進室兼関連調整係

TEL：0266-27-1111（内線246）／FAX：0266-28-8783／E-mail：kanren@town.shimosuwa.lg.jp

広  
報

# 諏訪バイパス

Public relations magazine Suwa bypass



## 諏訪バイパスの整備効果～其ノ2～

### ■バイパスの整備効果3:地域産業の活性化 (VOL.10「整備効果1・2」のつづき)

現在、諏訪地域では、市街地内を通行する車両の渋滞により、高速道路インターチェンジへの円滑なアクセスが大変困難な状況となっています。諏訪バイパスの早期整備により、こうした状況の改善や、地域産業の更なる活性化が期待されます。



飯島交差点付近交通状況

#### 《観光、イベントへの効果》

諏訪地域には、諏訪湖や諏訪大社、霧ヶ峰高原をはじめとした観光地や、御柱祭、諏訪湖祭花火大会等の全国的な知名度を持つイベントが数多くあります。特に春から夏にかけての観光シーズンには多くの来訪者がありますが、観光客と車両の集中による混雑が大きな課題となっています。

諏訪バイパスの整備により、最寄りのインターチェンジまでの所要時間は2分の1程度に短縮されると試算されており、混雑緩和、集客促進等の効果が見込まれます。

#### 《製造業への効果》

諏訪地域は精密機械工業が盛んで、生産量のおよそ8割を首都圏や中京圏以西へ出荷しています。しかし、道路混雑により、最寄りインターチェンジへのアクセスが悪く、工業集積地の立地特性を活かせない状況となっています。

諏訪バイパスの整備は、流通をスムーズにし、入出荷にかかる時間が短縮されることで産業活性化、地域経済の発展に寄与します。



大社通り四ツ角付近 貨物車両の混在状況

#### 《今後の流れについて》

現在、諏訪バイパス事業について、環境に及ぼす影響が最小限となるよう、事前の調査、予測及び評価を行う「環境影響評価」が実施されています。周辺住民の皆さまのご協力をいただきながら、騒音や水質、生態系などについて調査を行い、次の段階となる「準備書」で、調査、予測、評価を経た環境保全対策の検討結果を示し、環境の保全に関する考え方をまとめます。

これに並行して、県では都市計画道路の変更手続きを行います。現在は、500m幅のルート帯が示されていますが、今後、「ルート・構造の原案」が具体的に示され、その後、都市計画道路の変更を行い、諏訪バイパスの事業化へと進んでいきます。

地域の皆さまのご意見をいただきながら進めていきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

### 発行主体

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会（諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会）・下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会・諏訪市・下諏訪町

## 視察研修を行いました。

8月20日(月)に、道の駅「ヘルシーテラス佐久南」と中部横断自動車道の視察研修を行いました。

道の駅「ヘルシーテラス佐久南」では、地域活性化をテーマに説明を受けました。農業体験イベントの実施や、大船渡市(友好都市)のサンマの販売等、知名度を高めるために行われた様々な工夫を知ることができました。

また、中部横断自動車道では、事業の進め方や整備による効果、「佐久穂地区改良6工事」等特徴のある工事についての説明を受け、今後のバイパス事業推進のための有意義な視察研修となりました。



ヘルシーテラス佐久南での研修

## 長野国道事務所・長野県建設部への 要望活動を行いました。



長野国道事務所塩谷事務所長への要望

11月7日(水)に、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所へ諏訪バイパスの早期事業化と下諏訪岡谷バイパスの早期完成に向けた事業促進を要望しました。塩谷長野国道事務所長から「ルート・構造の原案については、そう遠くない時期に示していきたい。」というコメントをいただき、今後の事業の更なる推進に期待が膨らみます。



長野県建設部白田建設技監への要望

また、長野県建設部への事業支援要望を併せて行い、白田建設技監からは、「引き続き環境影響評価の手続きを進めると共に、ルートの決定、事業化に向けて国へ働きかけたい。」という前向きなコメントをいただきました。

### 問合せ先

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局

諏訪市建設部国道バイパス推進室

TEL : 0266-52-4141 (内線271) / FAX : 0266-52-8164 / E-mail : bypass@city.suwa.lg.jp

下諏訪町建設水道課国道バイパス推進室兼関連調整係

TEL : 0266-27-1111 (内線246) / FAX : 0266-28-8783 / E-mail : kanren@town.shimosuwa.lg.jp